

平成17年度

水道事業の経営内容

長引く市内経済の低迷と給水人口の減少、更には節水意識の高まりにより使用水量は減少し、年間使用水量は対前年度比で、108,539㎥減少し、給水収益は2,190万円の減収となり、収益的収入全体では、6億1,171万円の決算となりました。一方、収益的支出全体では7億2,418万円の決算となり、1億1,247万円の純損失で収支決算となりました。(消費税抜き)

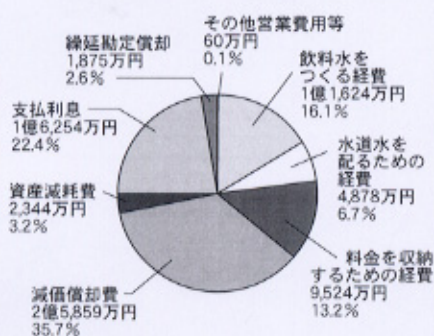
給水の実績

● 年間総配水量	3,897,027 ㎥
● 1日最大配水量	13,451 ㎥
● 1日平均配水量	10,677 ㎥
● 給水人口	23,998 人
● 述べ給水件数	142,022 件
● 普及率	91.54 %
● 1 ㎥当たりの供給単価	182.75 円
● 1 ㎥当たりの給水費用	238.43 円

問い合わせ先 水道部管理課庶務係
☎ 24-2111 内線 358 番

経常的な事業活動に伴う収支 (消費税抜き)

経常的支出 7億2,418万円



経常収入の内容

・給水収益は水道事業の根幹をなす収入であり、用途別の合計額で5億5,507万円、経常収入の90.7%を占めています。

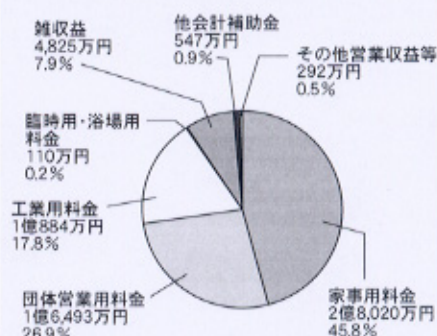
経常支出の内容

・水道水が作られてから、蛇口まで配られ、使用された量に基づき料金を納めて頂くまでに必要となる経費は、2億6,026万円となり、経常支出のおよそ36.0%を占めています。
・以外の経費は、固定資産の減価償却費のほか、企業債の償還利息等があります。

経常的収支

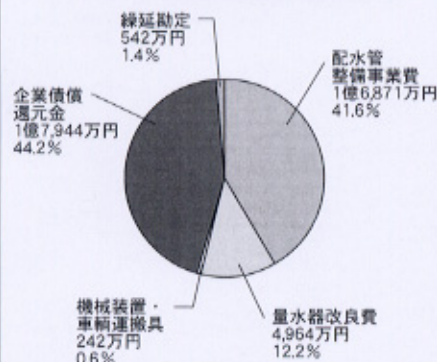
・収入・支出差し引き額で、1億1,247万円の損益赤字が生じました。

経常的収入 6億1,171万円



投資的な事業活動に伴う収支 (消費税込み)

投資的支出 4億563万円



配水管整備事業

・安定した給水を行うために、国からの借入金を財源に、13路線で2,707.4mの配水管路整備を実施しました。

量水器改良・整備経費

・計量法に基づき、1,518個のメーター取替と127個のメーター新設を実施しました。

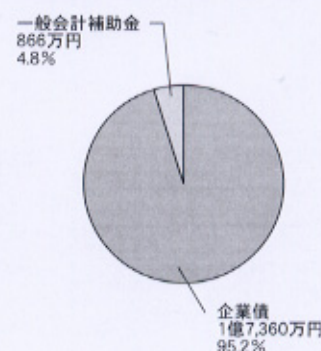
企業債償還元金

・過去に発行した企業債の償還元金です。

投資的収支

・収支の不足額2億2,337万円は、経常的支出の内、減価償却費など現金支出を伴わない支出で補填しました。

投資的収入 1億8,226万円



資金の収支状況 (消費税込み)

収 入		支 出	
給水収益	5億7,347万円	営業費用	2億6,405万円
その他の営業収益	292万円	営業外費用	1億6,254万円
営業外収益	5,539万円	建設改良費	1億9,344万円
前年度未収金	704万円	企業債償還金	1億7,944万円
企業債	1億7,360万円	貯蔵品購入費	2,921万円
前受金	108万円	前受金	176万円
預り金	4億4,469万円	預り金	4億4,731万円
前年度繰越金	2億2,379万円	未払金、消費税	941万円
一般会計補助金	866万円	繰延勘定	542万円
受託工事収益ほか	0万円	次年度繰越金	1億9,806万円
計	14億9,064万円	計	14億9,064万円

財政の状況 (平成18年3月31日現在)

固定資産	58億4,319万円	負債	1,447万円
流動資産	2億1,708万円	資本金	58億9,318万円 (自己資本 6億5,467万円) (借入資本 52億3,851万円)
繰延勘定	5,102万円	資本剰余金	3億9,428万円
		利益剰余金	△1億9,922万円

